

# JIS

## トラックの普通荷台に関する用語

JIS D 0105-1987

(2006 確認)

昭和 62 年 7 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 自動車・航空部会 自動車専門委員会 構成表

	氏名	所 属
(委員長)	中 込 常 雄	社団法人自動車技術会
	中 川 勝 弘	通商産業省機械情報産業局
	松 波 正 壽	運輸省地域交通局陸上技術安全部
	飛 田 勉	工業技術院標準部
	石 渡 正 治	財団法人日本自動車研究所研究第1部
	梅 澤 清 彦	東京工業大学精密工学研究所
	大 西 徳	社団法人全日本トラック協会業務部
	佐 藤 武	慶應義塾大学理工学部
	瀬 倉 久 男	防衛庁装備局
	田 中 兼 吉	社団法人日本バス協会技術部
	轟 秀	社団法人日本自動車連盟ロードサービス部
	杉 浦 秀 昭	社団法人日本自動車整備振興会連合会試験部
	岩 根 政 雄	社団法人日本自動車部品工業会
	宇 藤 官	鈴木自動車工業株式会社二輪第二設計部
	大 槻 耕 一	日野自動車工業株式会社研究管理部
	改 田 護	トヨタ自動車株式会社技術管理部
	金 子 達 昭	日本自動車輸入組合
	野 本 正 猪	三菱自動車工業株式会社技術本部技術管理部
	牧 野 昇	本田技研工業株式会社総務部
	宮 崎 弘 昭	日産自動車株式会社設計管理部
	安 部 史 之	日産ディーセル工業株式会社設計管理部
	一 瀬 修	マツダ株式会社東京技術部
	植 木 源 治	日本道路公団維持施設部
	大 野 恭 二	いすゞ自動車株式会社特許部
(関係者)	古 川 洋	社団法人自動車技術会
(事務局)	江 口 信 彦	工業技術院標準部機械規格課
	中 田 幹 夫	工業技術院標準部機械規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和46.10.1 改正：昭和62.7.1 確認：平成4.5.1

官報公示：平成4.5.18

原案作成協力者：社団法人自動車技術会

審議部会：日本工業標準調査会 自動車・航空部会（部会長 関 眞治）

審議専門委員会：自動車専門委員会（委員長 中込 常雄）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## トラックの普通荷台に関する用語 D 0105-1987

(1992 確認)

## Glossary of Terms for Cargo Type Rear Body of Motor Trucks

1. 適用範囲 この規格は、普通自動車\*のトラックの普通荷台 及び その構造が標準的な荷台の部品に関する用語について規定する。

注\* JIS D 0101 (自動車の種類に関する用語) による。

2. 分類 用語の分類は、次のとおりとする。

## (1) 荷台の種類に関する用語

- (a) 全般
- (b) 荷台の囲いによる分類
- (c) 荷台の床面による分類

## (2) 床関係部品に関する用語

## (3) 鳥居関係部品に関する用語

## (4) あおり関係部品に関する用語

- (a) 一般あおり
- (b) ブロックあおり

## (5) ぎ装部品に関する用語

## (6) その他の部品に関する用語

- (a) 床に関するもの
- (b) 鳥居に関するもの
- (c) あおりに関するもの
- (d) ぎ装に関するもの

3. 用語及び意味 用語及び意味は、次のとおりとする。

なお、参考として慣用語及び対応英語を示す。

備考 1. 用語欄で用語の下に ( ) を付けて記したものは、その用語の読み方を示す。

2. 意味欄で用語の後に ( ) を付けて示した数字は、この規格における用語の番号を示す。

## (1) 荷台の種類に関する用語

## (a) 全般

番号	用語	意味	備考	参考	
				慣用語	対応英語
1000	普通荷台	一方又は三方に操作が簡易なあおり(4101)などの囲いを備えた荷台の総称。 平荷台(1130)を含む。			cargo type body

引用規格：JIS D 0101 自動車の種類に関する用語